

琴浦町図書館改革検討事業

社会教育課 図書館

1 なぜ図書館改革か

■公共施設レビューでの意見等を踏まえ、図書館業務を見直す。

【現状】

- 開館以来、本の貸出・返却が中心で、大きく変わっていない。>> 利用者数の減少
- 図書館が生活や仕事に役立つ情報の宝庫であるという情報発信が不十分。



図書館改革が必要



- ・先進自治体に学ぶ。
- ・町民が主体となった取組の実施

2 これからの図書館の方向性

■地域における知の拠点としての図書館

- 図書館が地域や生活、産業などの役立つ情報の宝庫であり、利用価値が高い。



積極的な情報発信。行政や学校、まちづくり団体や地域住民等との連携。

■子どもたちや高齢者など町民の居場所(サードプレイス)

地域コミュニティの中心的な施設。

3 先進地視察

■長野県塩尻市 市民交流センター「えんぱーく」

「図書館」、「子育て支援・青少年交流」、「シニア活動支援」、「ビジネス支援」、「市民活動支援」 5つを重点分野とする複合施設

■岡山県瀬戸内市立図書館

○市民と行政が育てる「持ち寄り・見つけ・分け合う」広場としての図書館。



■全国の新しい図書館や複合施設のモデルとなっている施設。

・智頭町図書館、境港市民交流センター(仮称)も視察等

4 今後の取り組み

■町民と一緒に考えるワークショップ等の開催。

- ・11月5日(火) 講演会、ワークショップ
- ・1月17日(金) 今後の方向性の検討

(ワークショップでの意見を踏まえ。)

- ・2月頃 図書館改革に向けた意見交換、ワークショップ等の開催。

■令和2年度

具体的な改革の取り組みとして、ワークショップ等を引き続き実施。



■総務省地域情報化アドバイザー制度活用

・アドバイザー：岡本 真 氏

アカデミック・リソース・ガイド(株) 代表取締役

・図書館や複合施設をプロデュースする専門家

・智頭町図書館、境港市民交流センター(仮称)の支援・助言

町民が広く利用するカウベルホールを考える会

令和元年9月3日
社会教育課

1 経過及び目的

3月に実施した公共施設レビューにおいて、町民評価員より「要改善」との評価をいただいたカウベルホールについて、現在、空調設備の不調により当面の間、休館とせざる得ない状況で、早急に利用団体や有識者とホールの利用方法・管理運営等の検討を開始する。

【レビュー評価結果】

譲渡・廃止：12名 要改善：18名 現行通り：3名

【レビュー評価に添えられた主な意見】

- ・ 活用されるための取り組みを行い、変わらなければ閉鎖を検討
- ・ 現状では、使っていない人たちの税負担があまりにも大きい
- ・ どんな価値をどのような形で町民に広げていこうとするのかを示す必要がある（文化芸術の振興ビジョンが必要）
- ・ ホールの響きが良いというだけでは説明が不十分
- ・ 民間への指定管理委託による企画、運営（運営に対する熱意）

2 考える会で検討する事項

- (1) より町民が広く利用できる・利用するホールのあり方
- (2) 企画運営に活動者等が主体的に参画する体制づくり
- (3) 施設の管理運営の方法（直営または指定管理）
- (4) 上記を踏まえたうえで、その利活用方法にあわせた施設、設備改修の範囲

3 考える会メンバー（案）

- (1) ホール利活用有識者
- (2) 公共施設管理有識者
- (3) 施設・設備改修専門家
- (4) 町民・利用団体代表者
- (5) 教育関係者
- (6) 鳥取県文化政策課

4 本年度の活動予定内容

- ・ 10月以降、考える会にて検討項目に関する検討会を開催する。（3回程度）
- ・ 検討会での施設・設備改修内容に対して、行政にて財源検討等を行う。

5 補正予算額（247千円）

報償費 227千円
費用弁償 20千円